

令和3年度事業報告

■運営の概要

平素より全国の会員、指導者の皆様には、才能教育運動推進のため多大なるご尽力を賜り、深く感謝申し上げます。

令和3年度の事業が終了しましたので、その概要をご報告いたします。

一昨年から続く新型コロナウイルス感染症は、急拡大と短期間の収束を繰り返し、未だに以前のような生活を取り戻す事が出来ずにいます。

本会も「出来る事を出来る形で」と工夫を凝らしながら活動をして参りましたが、対面・多数での事業は、安全面を考慮して大きな制限下での開催を強いられました。

例年6月に開催している全国指導者研究会は、完全オンラインでの開催となりました。

一堂に会す事は出来ませんでした。内容は例年に勝るとも劣らない充実したものとなり、例年より3割以上も多い数の先生方が参加されるなど、オンラインの利点も活かしながらの開催となりました。

同様に完全オンライン開催となった夏期学校も、双方向通信の教室別レッスンや、事前録画を配信する形で行うグループレッスンやコンサートなど、工夫を凝らした形での開催となり、多くの生徒さんにご参加いただく事が出来ました。

3月に計画していたピアノ科卒業式と卒業演奏会も、昨年度に続き事前収録分の配信開催となりましたが、全体で6,000回に迫るご視聴をいただくなど、多くの方にご覧いただく事が出来ました。

様々な事業に多くの方が集まれない事は残念でありましたが、感染防止を優先しながら工夫を凝らして研修や発表の機会を持たせた事は、大きな成果であったと考えています。

また、平成28年から行ってきた東京大学との共同研究の成果が、英国専門誌への論文掲載という形で発表されました。

内容は機関誌やHPなどで公開していますが、本会指導法の優位性が科学的・客観的に証明された形となり、今後の活動の大きな力になると期待されています。

なお、この共同研究は令和4年以降も継続される事になり、更なる成果が期待されています。

このようにコロナ禍による制限の中でも、様々な活動を続ける事により、会員の減少率は昨年度までより少なくなりました。

しかしながら新規入会者の減少は顕著で、将来の法人運営に危機感を覚える状況が続いています。

そこで、より多くの方に本会活動を知っていただき、会員を増やす事を目的に広報活動にも一層力を入れていきます。

今年度は、会員向けWebマガジン創刊のほか、新たなロゴマークや入会パンフレットの作製、外部団体への働きかけ、家庭でのレッスンの参考になる動画の作製などにも取り組んで来ました。

今後も新規入会者の獲得や、現会員の満足度向上に向けて様々な活動に取り組んで参ります。

新型コロナウイルス感染症の収束は見通せませんが、政府・自治体からも経済活動との両立を目指して、十分な対策をしたうえで活動を再開する方向性が示されています。

令和4年度は、全国指導者研究会も夏期学校もハイブリッドで開催する計画です。

コロナ禍から解放されるのは、もう少し先になりそうですが、関係者の安全を優先しながらも、スズキ・メソッドの普及と音楽文化の発展のため、才能教育運動を推進していきたいと思っておりますので、皆様のご協力とご支援をよろしくお願いいたします。

■公益目的事業報告

I 講座、セミナー、育成

(1) 第70回夏期学校

開催期間：令和3年7月30日（金）～8月1日（日）

開催方法：オンライン

参加（登録）生徒数：978名

参加（登録）指導者数：550名

参加（登録）生徒数

	V科	C科	F科	P科	合計
生徒数	589名	83名	41名	265名	978名

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、完全オンラインで開催しました。

初めての試みとなりましたが、例年並みの参加生徒（ピアノ科は2倍以上）のご登録をいただき、双方向、または配信による教室別レッスンやグループレッスンが行われました。

事前収録された生徒さんのコンサートや、早野会長と末廣実行委員長が保護者からの相談に答える保護者教室などの企画もありました。

また、70回目を迎えた夏期学校を記念して、初期の夏期学校を映像で振り返る企画や、楽器科特別講師による記念コンサートも実施しました。

(2) 2021年全国指導者研究会

開催日程：令和3年6月7日（月）～6月10日（木）

開催方法：オンライン

参加（登録）指導者数：604名

新型コロナウイルス感染拡大を受けて、完全オンラインで開催しました。

初めての試みとなりましたが、各科特別講師による講義のほか、豊田耕児名誉会長のマスタークラス、佐藤理州先生によるチェンバロの講義、土屋秀宇先生による基調講演、竹澤恭子先生と東誠三先生によるスペシャルコンサートなど、大変充実したプログラムが用意され、例年より多くの指導者が参加されました。

また、米寿を迎えられた豊田名誉会長に花束をお贈りし、全員でお祝いしました。

(3) 0～3歳児教室

開催日程：通年

開催場所：直営教室（郡山、大府、多治見）

自主運営教室（麻布十番、所沢、鎌倉・藤沢、津田沼豊洲、長野、松本、富山高岡、名古屋、西宮さんだ）

0～3歳児とその保護者を対象に全国で12の教室を開設し、5月末日現在113組（直営15、自主運営98）の親子が受講しています。コロナ禍により休講せざるを得ない事もありましたが、オンライン開催にも取り組みながら、感染予防対策を万全にして活動を再開しています。

また、下記の研究会も実施しました。

令和3年6月6日（日） 0～3歳児コースとスズキ・メソッド幼児教育研究会による

共同シンポジウム

「質の高い乳幼児教育を目指す～一茶俳句の暗唱、その意義と方法～」

随時

教室長会議

(4) フルート科創設 50 周年記念事業

1971 年にスズキ・メソードのフルート科が誕生してから 50 年を迎えるのを記念して、記念誌や記念品、記念動画の作製を行いました。

記念誌は英語版も作製して Web 公開しています。

(5) 生涯学習教育

子どもに限らず、大人も音楽に親しむ機会を作るため、専用の HP を公開して教室案内を行っています。

令和 4 年 5 月 22 日には「大人のスズキピアノコンサート」として、事前録画を含めたオンラインコンサートを実施し、大人の会員の発表と交流の機会を設けました。

(6) 准指導者制度、初級指導者制度による指導者養成

開催日程：通年

開催場所：研修生在住地域 他

スズキ・メソードの指導者認定を目指し、准指導者養成制度研修生 6 名（V 科 5 名、P 科 1 名）が日々研鑽を積んでいます。

また、次の方が新たな指導者認定を受けました。

正指導者認定者 小田嶋直子(P)

准指導者認定者 根岸 彩和、山田 華菜 (V)

草野奈王美、新田かおり、宮城 成美(P)

初級指導者認定者 林 絵里加(P)

(7) 卒業検定

開催日程：令和 3 年 10 月～令和 4 年 3 月

生徒の目標と意欲作りを目的に卒業検定が行われ、下記のとおり卒業認定されました。

令和 3 年度卒業生数

	ヴァイオリン科		チェロ科		フルート科		ピアノ科		ヴィオラ		合計	
	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比	卒業生	昨年比
前期初等科	396 名	-82	49 名	-1	11 名	2	398 名	49	0 名	-2	854 名	-34
初等科	370 名	-1	41 名	0	2 名	-5	300 名	24	1 名	-2	714 名	16
前期中等科	324 名	-40	—	—	2 名	-8	203 名	-42	2 名	2	531 名	-88
中等科	313 名	-6	35 名	-2	3 名	1	140 名	-38	1 名	0	492 名	-45
前期高等科	274 名	-6	20 名	-7	4 名	-2	99 名	-36	0 名	0	397 名	-51
高等科	186 名	-26	18 名	-4	4 名	2	70 名	-17	0 名	0	278 名	-45
課程卒業	133 名	3	15 名	-2	1 名	-1	63 名	-12	0 名	0	212 名	-12
研究科 A	94 名	-17	8 名	-11	1 名	0	56 名	-7	0 名	0	159 名	-35
研究科 B	79 名	2	9 名	-4	0 名	-2	60 名	21	0 名	0	148 名	17
研究科 C	47 名	-9	6 名	0	0 名	-1	—	—	0 名	0	53 名	-10
合計	2,216 名	-182	201 名	-31	28 名	-14	1,389 名	-58	4 名	-2	3,838 名	-287

卒業録音の受付システムを新たに開発した事により、課題曲の提出や検定などがオンライン上で出来るようになりました。

今まで郵送でやり取りされていた音源や書類がオンラインで対応可能となり、時間や費用の削減につながりました。

II 調査、資料収集

(1) 資料収集と整備及び公開

スズキ・メソッドの情報発信のため、機関誌と才能教育通信を刊行したほか Web マガジンの MonthlySuzuki を毎月 1 日に配信しました。

機関誌は 212 号からデジタル配信と冊子サイズの見直しを行い、より読みやすい形に変更しました。

機関誌 210 号～212 号、通信 795 号～796 号

MonthlySuzuki 記事 98 本

資料整理とデジタル化作業

過去の音声や映像、文書等を長期保存するためのデジタル化作業を進めました。

(2) 指導者による研究

教育部運営委員会（全てオンライン開催）

令和 3 年 7 月 12 日（月）、9 月 28 日（火）、11 月 10 日（水）、12 月 29 日（水）

令和 4 年 2 月 9 日（水）、4 月 13 日（水）、5 月 11 日（水）、5 月 25 日（水）

指導者から選出された委員により、教育部に係わる事業、制度等に関する検討を行いました。

スズキ教育法委員会（全てオンライン開催）

令和 3 年 7 月 5 日（月）、7 月 18 日（日）、8 月 3 日（火）、8 月 22 日（日）、9 月 12 日（日）

10 月 8 日（金）、10 月 10 日（日）、10 月 13 日（水）

ヴァイオリン科研究会（全てオンライン開催）

令和 3 年 12 月 13 日（月）

令和 4 年 3 月 25 日（金）、3 月 27 日（日）、5 月 2 日（月）

チェロ科研究会（全てオンライン開催）

令和 3 年 10 月 21 日（木）、11 月 29 日（月）

フルート科研究会（全てオンライン開催）

令和 3 年 11 月 16 日（火）、令和 4 年 2 月 21 日（月）

ピアノ科研究会（オンライン開催）

令和 4 年 5 月 8 日（日） ※5/22～5/29Web 配信

10 年後のスズキを考えるプロジェクト（全てオンライン開催）

令和 3 年 12 月 18 日（土）、令和 4 年 5 月 16 日（月）

各科委員会 随時

(3) 東京大学との共同研究

音楽の習得や演奏評価に関係する脳メカニズムを特定するために、東京大学大学院総合文化研究科の酒井邦嘉教授と共同研究を進めています。

令和 3 年 12 月には、英国で歴史のある脳科学の学術誌「Cerebral Cortex（大脳皮質）」に研究論文が掲載されたほか、本会機関誌や HP でもスズキの優位性についての研究成果を掲載しました。

Ⅲ 主催公演

(1) ピアノ科卒業記念演奏会

配信日程：令和4年4月17日（日）甲信地区、東海地区、北陸越地区

4月24日（日）関西地区、中国・四国地区、九州地区、沖縄地区

関東地区、北海道・東北地区

開催方法：オンライン配信

視聴回数：5,900回

全国5ヵ所での開催を計画していましたが、コロナ禍により一堂に会して開催する事が難しい状況であったため、それぞれの会場で事前録画した映像をオンライン配信する形で実施しました。

Ⅳ 助成

(1) 奨学金事業

受給申請がなかったため、今年度は実施しませんでした。

Ⅴ 地域文化活動協力

(1) 情操教育事業（松本市内において通年）

松本市と共同で市立幼稚園・市立保育園においてCD鑑賞を通じた情操教育事業を行っています。また、松本市近郊の指導者が中心となり、市内約半数の幼稚園・保育園を対象に訪問演奏を実施しました。

(2) 鈴木鎮一記念館の管理運営（通年）

松本市所有の鈴木鎮一記念館の指定業者として、来館者への対応等の管理運営を行っています。今年度もコロナ禍によりコンサートなどのイベントは実施できませんでした。

アフターコロナに向けて、より多くの方にご来館いただけるよう、展示内容のリニューアルやHP等での発信を強化していきます。

(3) 学校法人長崎日本大学学園との協力

スズキ・メソードを通して音楽を愛好し、高い演奏技術を持つ人材を育成し、また、抱擁能力のある人間性をつくる教育をもって地域文化の向上に貢献するため、長崎日本大学学園からの要請に基づき本会認定指導者を派遣しています。

(4) 学校法人博多学園との協力

学校法人博多学園の併設校博多高等学校看護科のスズキ・メソードによる音楽授業実施のため、本会認定指導者を派遣しています。

(5) スズキ・メソード幼児教育研究会との協力

幼稚園教育におけるスズキ・メソードの実践に協力するほか、本会認定指導者を派遣して園児に対する音楽指導を行っています。

令和3年8月7日に開催された夏期研修会では早野会長が基調講演を行いました。

(6) スズキ・メソード認定指導者派遣要請に対する指導者派遣

全国の幼稚園、保育園からの指導者派遣要請に応じて、本会認定指導者を派遣し正課プログラムとしてヴァイオリンの指導を行っています。

VI 支援

(1) 災害支援（随時）

東日本大震災の災害支援の一環として、郡山支部に対して支部運営費等の補助を行いました。

VII その他

(1) 広報活動（随時）

- ・ MonthlySuzuki や Facebook などを通じて、積極的に情報発信を行いました。
- ・ 令和4年4月に会員向け Web マガジン「Fruitful」を創刊し、様々な情報を発信しています。
- ・ スズキ・メソードの認知度 UP やブランド力の強化を目指し、新たなロゴマークの作製を進めました。
- ・ 初歩の生徒さんの家庭でのレッスンの参考となるレッスン動画の作製を進めました。
- ・ 本会活動を1冊にまとめた「活動報告書」を作成して全国の音楽関係団体と長野県内の優良企業に送付することにより、スズキ・メソードの認知度 UP と法人賛助会員の獲得に努めました。

(2) 副教材販売（随時）

ピアノ科教則本など、指導に必要な副教材の販売を行いました。

(3) 代教事業（随時）

本会認定指導者が病気等により指導ができなくなった際の代教申請の受付と、本会認定指導者の派遣を行いました。

(4) 業務システムの再構築

昨年構築した新たな業務システムについて、各事業の受付機能などの追加開発と運用を始めました。

これにより、事業参加履歴等を含めた会員情報が一元管理できるようになりました。

(5) 「おうちでおけいこ」動画の作製

各楽器科の初歩の教本を家庭で練習する際にお手本となる動画を作製しました。

会員の皆様にご覧いただけるよう Web 上に限定公開予定になっています。

■収益事業

I 才能教育（スズキ・メソード）の関連商品の開発・企画・制作・販売

既存のスズキ・メソードの書籍・CD等関連商品の販売を行いました。

実施時期：通年

II 所有建物等の賃借等

本会が所有するスズキ・メソード研究所、吉祥寺教室、西武教室、埋橋住宅を貸し出して家賃収入を得るほか、才能教育会館のホールを貸し出して使用料を得ています。

実施時期：通年

■法人活動

I 会議

- (1) 理事会 令和3年7月25日（日）、8月23日（月）、11月21日（日）、
令和4年2月13日（日）、3月14日（月）、3月20日（日）、4月17日（日）
本会運営に係わる事項の検討、決議等を行いました。

- (2) 第10期総会

実施時期：令和3年8月23日（月）

令和2年度決算書類、理事選任などの議題を審議しました。

- (3) その他必要に応じた会議

実施時期：必要に応じて

II 国際スズキ協会および海外のスズキ協会との連携

- (1) 国際スズキ協会理事会への出席

実施時期：令和3年10月16日（土）、17日（日）

令和4年1月9日（日）、2月27日（日）、3月6日（日）、4月9日（土）
5月14日（土）

実施場所：オンライン

TERI 代表理事の早野龍五会長が出席し、全ての会議で議長を務めました。

- (2) 国際スズキ協会楽器科別委員会への出席

実施時期：令和4年2月4日（金）、3月7日（月）、3月8日（火）

実施場所：オンライン

F科委員会に宮前丈明先生が出席しました。